



平成 28 年 10 月 6 日
第 14 号 (秋号)
南つくし野小学校
南つく蝶プロジェクト

2016 年度の秋の蝶プロの活動がスタートしました。

夏休み前の東工大構内での観察会と、2学期が始まってからのバタフライガーデン作りの紹介です。

7月16日は、東工大構内の加藤山を散策し、昆虫や草花の観察をしました。ビンゴカードを持って、見つけた植物や昆虫に印をつけました。チョウやトンボ、甲虫などが観察されました。



入り口近くのスズカケノキ



背中にハートマークがあるカメムシ
(エサキモンキツノカメムシ)



加藤山

9月24日は、前日までの雨のため、近くの畑での蝶探しは行わず、学校内での活動となりました。まず、バタフライガーデンでどんな植物が植えられているか、観察した後、草取りをしました。その後、キャベツやニンジンの苗を植え、花の種をまきました。



キチョウ



セセリチョウ



ジャコウアゲハのさなぎ



ツマグロヒョウモン

お手紙ありがとうございました。

チョウポストに感想や質問、お手紙が届きました。

夏休みのチョウの観察記録もあります。

10/19の活動、チョウの勉強会の時に紹介しようと思います。

これからもチョウの目撃情報、お手紙など待っています。



おんだがわ はたけ 恩田川の畑から

夏の間、さつま芋は、ツルが伸びてその途中からも、根が出ます。そしてどんどん茂ります。そうになると、なんと芋はちっとも育たないのです。そこで「ツル返し」、ツルの途中から出た根を地面からはがしてひっくり返していく作業が必要となります。お芋が育っているか、11月の活動をお楽しみに。



← ウラナミシジミと →
その幼虫の食草『三尺ささげ』
幼虫はさやの中の豆を食べます。



←キマダラコヤガ

ほかにも畑には、オケラやモグラもいます。

バタフライガーデンから



今年の春から夏にかけて、南つくし野小のバタフライガーデンでは、たくさんの生命が育まれました。中庭のガーデンでは、夏みかんの苗に、数え切れないほどのナミアゲハ、クスノキにはアオスジアゲハ、イタリアンパセリにはキアゲハが育ちました。図書室前の三角花壇では、ウマノズクサという蔓性の植物に、ジャコウアゲハがタマゴを産み、太くて立派に育ったウマノズクサが黒くてとげとげした幼虫たちに食べつくされてしまいました。幼虫は本当にくいしんぼうです。大きくなるためには、ちょっとぐらい硬い葉でも茎でも、バリバリ食べます。夏休みの間に何匹も羽化したようですが、近所で黒いアゲハチョウを見かけませんでしたか？もしかしたら学校で生まれたジャコウアゲハかもしれません。

めだか池でお世話になった TR ネットの方から、11月に行われる小山田の鶴見川源流でのエノキの植樹会のお誘いを受けたので下見に行ってきました。町田市と鶴見川源流ネットワークでは、鶴見川の最源流に位置する源流保水の森の保全・再生をすすめています。エノキの植樹もそのひとつです。

2月に蝶プロスタッフが植樹した小さなエノキも1mほどに育っていました。葉の先にはゴマダラチョウの小さな幼虫がいました。

エノキの植樹会（11月27日午後）にご興味のある方、ご一緒に参加できる方、スタッフまでお声かけください。
（淵野辺からバス11分 駐車場有）



『南つくし蝶プロジェクト』で検索してね。 <http://butterflygarden.sunnyday.jp/>
カラーの通信、過去の活動報告やチョウレポートなどを公開しています。

南つくし蝶プロジェクトでは、スタッフおよび花壇の手入れなどのお手伝いをしてくれる人を募集しています。お子さんの様子を見ながら花壇の手入れのお手伝いをしてくださいませんか？一緒に活動してくれるスタッフも募集中です。自然観察や昆虫に興味のある地域の方、卒業生のお兄さん、お姉さんも大歓迎です。参加できる時だけで大丈夫です。楽しい企画も大歓迎です。